

新規のプロバイオティクスや プレバイオティクスの開発



浅沼 成人
Narito Asanuma

農学部 生命科学科 代謝制御学研究室
School of Agriculture, Department of Life Sciences

研究目的	菌の導入により，免疫活性の増進・発癌の予防に役立てる。
研究内容	<p>①有益な菌を腸内に導入する際，菌を嫌氣的にカプセル化する必要性が生じる可能性がある。そのような技術・設備がないため協力をお願いしたいと考えている。また，ペット動物や人間の健康維持・増進に役立つ有益物質の消化管微生物による生成の増強を検討している。また，反芻動物からのメタン生成の抑制についても検討している。</p> <p>②宿主動物に有益な効果を与える菌を検索し，そのような菌の腸管内への導入方法について検討する。導入した菌を腸管内で増殖させる方法を検討する。また，菌の導入による免疫活性，発癌，種々の疾病などに対する効果を動物実験により検討する。</p>
用途	動物栄養学，消化管微生物学



●お問合せ先●

明治大学 研究推進部 生田研究知財事務室

TEL: 044-934-7639 E-mail: tlo-ikuta@mics.meiji.ac.jp

2014年6月改訂